







ラーマーヤナ (01) / [01] 「少年の巻」

0001. 物語の梗概

0002. ブラフマー神の降臨

0003. 『ラーマーヤナ』の物語の簡単な説明

ラーマヤナ (01) / [01] 「少年の巻」

0004. クシャとラヴァの『ラーマヤナ』の吟唱

0005. 都城アヨーディーヤの礼讃

0006. ダシヤラタ王の王国の統治

ラーマヤナ (01) / [01] 「少年の巻」

0007. ダシャラタ王の大臣の賞讃

0008. 馬祠祭執行の決意

0009. リシュヤ=シュリンガ仙の物語

ラーマヤナ (01) / [01] 「少年の巻」

0010. リシュヤ=シュリンガ仙招聘の手段

0011. ダシャラタ王のリシュヤ=シュリンガ仙の招聘

0012. 祭典の資材の調達

ラーマヤナ (01) / [01] 「少年の巻」

0013. 祭場への入御

0014. 馬祠祭の執行

0015. 男の子を得たいというダシャラタ王の願望と神々のラーヴァナ殺戮の懇請



ラーマヤナ (01) / [01] 「少年の巻」

0016. 乳糜の施与

0017. 獼猴・猿の誕生

0018. 吉祥なるラーマの地上への降下

ラーマヤナ (01) / [01] 「少年の巻」

0019. ヴィシュヴァーミトラ仙のラーマとラクシュマナ両王子同伴の懇請

0020. ダシャラタ王の拒絶

0021. ヴァシシュタ仙の教誡

ラーマヤナ (01) / [01] 「少年の巻」

0022. バラーとアディバラーという二種の学問の教示

0023. カーマ=アーシュラマでの逗留

0024. タータカーの森に到着

ラーマヤナ (01) / [01] 「少年の巻」

0025. タータカー殺戮の鼓舞

0026. タータカーの誅殺

0027. 武器についての教示

ラーマヤナ (01) / [01] 「少年の巻」

0028. 武器の使い方の教示

0029. シッタ=アーシュラマに到着

0030. 祭典の守護

ラーマヤナ (01) / [01] 「少年の巻」

0031. ミティラーへ出発

0032. ヴィシュヴァーミトラ仙の家系の礼讃

0033. クシャナーバの娘の結婚

ラーマヤナ (01) / [01] 「少年の巻」

0034. ヴィシュヴァーミトラの誕生

0035. ガンガーとウマーの誕生の礼讃

0036. ウマーの威力の讃美

ラーマヤナ (01) / [01] 「少年の巻」

0037. カールッティケーヤの誕生

0038. サガラ王の物語

0039. サガラ王の王子たちによる供犠の馬の探索



ラーマヤナ (01) / [01] 「少年の巻」

0040. カピラの出現

0041. サガラ王の祭典の完了

0042. ガンガーの降下のためにバギーラタ王の努力すること

ラーマヤナ (01) / [01] 「少年の巻」

0043. ガンガーの降下

0044. サガラ王の王子たち天国に達すること

0045. 乳海攪拌の礼讃

ラーマヤナ (01) / [01] 「少年の巻」

0046. マルツ群神の誕生

0047. ヴィシャーラーの王家の事蹟

0048. アハリヤーの呪詛

ラーマヤナ (01) / [01] 「少年の巻」

0049. アハリヤーの呪詛からの解放

0050. ジャナカ王の祭場への到着

0051. シャターナンダによるヴィシュヴァーミトラの家系の礼讃

ラーマーヤナ (01) / [01] 「少年の巻」

0052. ヴァシシュタのヴィシュヴァーミトラ款待

0053. あらゆる欲望をかなえる牛をヴィシュヴァーミトラが懇請したこと

0054. あらゆる欲望をかなえる牛を奪い去ること

ラーマヤナ (01) / [01] 「少年の巻」

0055. ヴィシュヴァーミトラ、弓術に上達すること

0056. 婆羅門の威光が一層力あることを示したこと

0057. トウリシャンク王が祭式の執行を懇願すること

ラーマヤナ (01) / [01] 「少年の巻」

0058. 呪詛されたトゥリシャンク王

0059. ヴァシシュタ仙の息子たちへの呪詛

0060. トゥリシャンク王が天国に赴いたこと

ラーマヤナ (01) / [01] 「少年の巻」

0061. シュナツハ=シェーパの行状のこと

0062. アンバリーシャの王の祭典の成就したこと

0063. ヴィシュヴァーミトラが物凄い苦行を実行したこと



ラーマヤナ (01) / [01] 「少年の巻」

0064. 呪詛されたランバー

0065. ヴィシュヴァーミトラが遂に梵仙の身分に到達したこと

0066. シヴァの弓の因縁物語

ラーマヤナ (01) / [01] 「少年の巻」

0067. ラーマがシヴァの弓を折ったこと

0068. ダシャラタ王のミティラーへの出発の決心の礼讃

0069. ダシャラタ王とジャナカ王の会合

ラーマヤナ (01) / [01] 「少年の巻」

0070. ヴァシシュタ仙、イクシュヴァーク王家を陳述すること

0071. ジャナカ王、みずからの家系を陳述すること

0072. 牛の贈与と祝福の祈願の記述

ラーマヤナ (01) / [01] 「少年の巻」

0073. シーターたちの結婚の大饗宴の記述

0074. パラシュ=ラーマの出現

0075. ヴィシュヌの弓を張るように促すこと

ラーマヤナ (01) / [01] 「少年の巻」

0076. パラシュ=ラーマの傲慢さをおさえること

0077. アヨーディヤーへの還御

ラーマーヤナ (01) / 解題『ラーマーヤナ』

0001. 『ラーマーヤナ』の性格と意義

0002. 『ラーマーヤナ』の伝本、刊本、訳本ならびに研究書

0002. (01) 『ラーマーヤナ』の伝本と刊本

ラーマーヤナ (01) / 解題『ラーマーヤナ』

0002. (02) 『ラーマーヤナ』の訳本、研究書

0003. 『ラーマーヤナ』の内容

0003. (01) 第一篇「少年の巻」(バーラ=カーンダ)

ラーマヤナ (01) / 解題『ラーマヤナ』

0003. (02) 第二篇「アヨーディヤーの巻」 (アヨーディヤー=カーンダ)

0003. (03) 第三篇「森林の巻」 (アラニヤ=カーンダ)

0003. (04) 第四篇「キシキンダーの巻」 (キシキンダー=カーンダ)



ラーマヤナ (01) / 解題『ラーマヤナ』

0003. (05) 第五篇「美麗の巻」(スンダラ=カーンダ)

0003. (06) 第六篇「戦闘の巻」(ユッタ=カーンダ)

0003. (07) 第七篇「大団円の巻」(ウッタラ=カーンダ)

ラーマヤナ (01) / 解題『ラーマヤナ』

0004. 『ラーマヤナ』の成立

0005. インドにおける「ラーマ物語」の文学

0005. (01) 古典文学作品における「ラーマ物語」

ラーマヤナ (01) / 解題『ラーマヤナ』

0005. (02) 佛教徒・ジャイナ教徒所伝の「ラーマ物語」

0005. (03) インド近代諸言語における「ラーマ物語」の文学

0006. インドの外における「ラーマ物語」の展開 (一) 東南アジア

ラーマヤナ (01) / 解題『ラーマヤナ』

0006. (01) ヴェトナム・カンボジアにおける「ラーマ物語」

0006. (02) タイ・ラオス・ビルマにおける「ラーマ物語」

0006. (03) インドネシア、特にジャワにおける「ラーマ物語」

ラーマヤナ (01) / 解題『ラーマヤナ』

0006. (04) マライ・フィリピンにおける「ラーマ物語」

0007. インドの外における「ラーマ物語」の展開 (二) 中央アジア・中国・日本

0007. (01) チベット・モンゴルにおける「ラーマ物語」

ラーマヤナ (01) / 解題『ラーマヤナ』

0007. (02) コータンにおける「ラーマ物語」

0007. (03) 中国およびわが国における「ラーマ物語」

0008. ヴァールミーキの『ラーマヤナ』と「ラーマ物語」の諸所伝との比較